

平成29年度 事業別予算概要

事業名	21700	地籍調査事業費		会計	1	一般会計	総合計 画	基本分野	5	基盤・安全	根拠計画	国土調査事業(地籍調査事業)第6次十箇年計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部林務課		款	2	総務費	個別分野		1	土地利用	実施計画事業	地籍調査事業			
	内線		項	1	総務管理費	施策の概要		1	総合的な土地利用	H29実施計画額	150,000	千円		
	2236		目	18	地籍調査費									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	地籍調査実施地域の森林所有者	どうしたいのか(意図)	一筆ごとの土地について、その所有者、地番、地目の調査並びに境界及び地籍に関する測量を行い、その成果を地図(地籍図)及び簿冊(地籍簿)にまとめる。	概要	事業の実施手法(手段)	調査の成果(地籍図、地籍簿)を法務局に送付し、登記簿の修正と不動産登記法第14条の地図整備を行うことで、森林整備を円滑に行うと共に境界紛争を防止する。
	対象者数	2,726 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	・地籍調査事業量(換算面積) 1.62km ² (岩滝地域 1.37km ² 、清見地域 0.02km ² 、久々野地域 0.03km ² 、国府地域 0.09km ² 、上室地域 0.11km ²)									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		地籍調査事業 実施面積		km ²	目標値	6	6	6	6	6
		算出根拠等		実績	実績値	5	-	-	-	-
		算出根拠等		達成率(%)	83	-	-	-	-	-
		算出根拠等		目標値						
		算出根拠等		実績値						
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
		算出根拠等		目標値						
		算出根拠等		実績値						
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
		地籍調査進捗率		%	目標値	17	17	17	17	17
		算出根拠等		第八次総合計画指標	実績値	14	-	-	-	-
算出根拠等		達成率(%)	81	-	-	-	-			
算出根拠等		目標値								
算出根拠等		実績値								
算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・地域要望に応じていくためには、計画に基づく着実な事業実施が不可欠である。そのための国、県の予算が充分でないことが課題である。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・積極的な予算配当を県へ要望すると共に、地域の要望を踏まえた調査区域の選定を進める。	
課の考え方	○ 維持・改善	第6次十箇年計画に基づき地籍調査を推進し、進捗率を高める。
	○ 拡大	
	○ 縮小	
	○ 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	87,051	119,931	131,176	153,519	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	31,934	43,995	48,120	56,317	
	受益者	地籍調査実施地域の森林所有者	(B)	2,726	2,726	2,726	2,726

5 予算編成(Action2)

事業内容	国土調査法に基づく国土調査 一筆ごとの土地の所有者、地番、地目を調査し境界の位置と面積を測量	要求のポイント	事業実施の課題	地籍調査の実施には多大な事業費を要するため、国や県と連携し事業費を確保する必要がある
------	---	---------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	131,176	153,519	22,343	151,193	151,193	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	97,500	113,904	16,404	112,500	112,500		
	その他			0				
	一般財源	33,676	39,615	5,939	38,693	38,693		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	21830	匠の家づくり支援事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約	農林畜産業の振興 ○海外からの安価な輸入品に対抗できるとともに、国内消費者にも満足されるような農林畜産物のブランド化を目指します。 ○高山市で生産される農林・畜産品、さらには、それらを使用した飛騨高山の和食文化の市場をトップセールスで開拓します。
			款	2	総務費	個別分野	6	林業	実施計画事業	匠の家づくり支援事業		
担当課		農政部 林務課	項	1	総務管理費	施策の概要	2	森林資源の有効活用	H29実施計画額	56,500	千円	
		内線 2236	目	19	環境政策費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民、市内工務店、市内木材生産者	どうしたいのか(意図)	・市産材を使用した木造建築を促進し、市産材の利用拡大を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ、1㎡あたり20,000円を補助する。 ・地産外消タイプ(市産材使用量に対し家具等木製品を贈呈する制度)を追加。 ・産直住宅建設促進事業者の活動に対し補助。 ・県産直住宅組合への負担金
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	匠の家づくり支援事業(地産地消)82件 (地産外消) 23件 計105件										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
					目標値						
					実績値						
		算出根拠等			達成率(%)						
					目標値						
					実績値						
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)						
					目標値						
					実績値						
		算出根拠等			達成率(%)						
		建築棟数		棟	目標値	120	200	200	200	200	
					実績値	105	-	-	-	-	
算出根拠等			達成率(%)	88	-	-	-	-			
市産材利用率(県産材に対する市産材の割合)		%	目標値	100	100	100	100	100			
			実績値	99	-	-	-	-			
算出根拠等			達成率(%)	99	-	-	-	-			
産直住宅建設数		棟	目標値	2	2	2	2	2			
			実績値	0	-	-	-	-			
算出根拠等			達成率(%)	0	-	-	-	-			

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	事務の効率化に引き続き取り組む必要がある。 市産材利用を促進するために、今以上に関係者へ当制度の効果的なPRを推進する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	市内の方への市産材のPRを引き続き行うとともに、新たに中津川市と連携することにより、中京圏から全国に利用拡大を目指し市産材の利用をPRする。	
次年度の考え方の担当	○維持・改善	平成28年度より中津川市との連携事業を実施しており、平成29年度以降も、中京圏から全国にむけて高山市産材の利用拡大を促進する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	33,511	33,800	30,590	51,710	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	366	372	571	565	
	受益者	市民、市内工務店、市内木材生産者	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・木造建築物の主な構造材における市産材の使用量に応じ建築主に対し1㎡あたり20,000円を補助 ・市外に建築する建築業者に対し、市産材の利用料に応じて市内の家具又は、木製品を建築主に贈呈する額を補助 ・中津川市と連携し中津川市産材・高山市産材を使用した木造建築物に対し1㎡あたり20,000円を補助	要求のポイント	市産材の消費拡大の推進	事業実施の課題	市外(国外)の方への効率的なPRの展開を図る必要がある
------	---	---------	-------------	---------	-----------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	30,590	51,710	21,120	51,390	51,390	・積算内容を精査 ・中津川市連携の匠の家づくり支援事業による増	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	320	720	400	320	320		
一般財源	30,270	50,990	20,720	26,070	26,070		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53100	林道管理事業費		会計	1	一般会計	総合計画	基本分野	1	産業・労働	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野		6	林業	実施計画事業	林道管理事業			
担当課	農政部林務課		項	3	林業費	施策の概要		2	森林資源の有効活用	H29実施計画額	36,000 千円			
	内線	2236	目	1	林業総務費									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者・森林組合・林業事業者	どうしたいのか(意図)	・林道の計画的な維持・修繕を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・林道/パトロール等を通じて林道破損箇所の情報を集め、修繕を行う。
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		・林道修繕 60件 58,442千円 ・林道管理委託 18件 2,783千円								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		林道維持管理		箇所	目標値	60	60	60	60	60
		算出根拠等		実績箇所	実績値	60	-	-	-	-
					達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等			達成率(%)	-	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
					達成率(%)	-	-	-	-	-
		間伐材利用に係る集運材量		m ³	目標値	15,500	16,600	16,600	16,600	16,600
		算出根拠等		飛騨農林事務所 搬出材積実績集計	実績値	11,677	-	-	-	-
			達成率(%)	75	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)	-	-	-	-	-		
			目標値							
			実績値							
			達成率(%)	-	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・林道の適正な管理のため、引き続き危険・緊急性など優先順位が高い箇所から順次修繕を行う。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・林道調査や町内要望等により必要な修繕を実施する。	
課の考え 次年度の担当	<input checked="" type="radio"/> 維持・改善	・林道の適正な管理のため、継続して修繕を行う。
	<input type="radio"/> 拡大	
	<input type="radio"/> 縮小	
	<input type="radio"/> 廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	29,236	64,156	35,674	38,218	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	6,523	14,314	7,959	8,526	
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者	(B)	4,482	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	・林道施設の維持管理	要求のポイント	・林道275路線の維持管理	事業実施の課題	・広大な市域に多くの林道があり、安全な通行を確保するためには、多くの修繕経費が掛かるうえ、林道調査などできめ細かな状況把握をしておく必要がある
------	------------	---------	---------------	---------	---

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		35,674	38,218	2,544	35,876	35,876	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	206	206	0	268	268		
	その他			0	120	120		
	一般財源	35,468	38,012	2,544	35,488	35,488		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53200	市有林整備事業費		会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約 農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。	
			予算	款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	市有林整備事業		
担当課		内線		項	3	林業費	施策の概要	1	森林の適切な管理	H29実施計画額	30,000 千円		
		2235		目	2	林業振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか(意図)	市の基本財産の造成、地域林業の振興、国土の保全等を図ることを目的に、計画的な管理・経営を推進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・市有林を適正に管理するため、集約化・森林経営計画に基づき、間伐や枝打ち等の施策を計画的に実施する。 ・市有林を活用し、建設業者等の利用間伐に対する森林施業技術のレベルアップを図る。
	対象者数	90,024 人				

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	・市有林管理事業 21,209千円 ・利用間伐・作業道開設等 5件									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		市有林間伐等施業実施面積		ha	目標値	58	50	50	50	50
		算出根拠等		事業実施面積	実績値	51	-	-	-	-
		達成率(%)			88	-	-	-	-	-
		市有林利用間伐面積		ha	目標値	32	12	25	25	25
		算出根拠等		事業実施面積	実績値	26	-	-	-	-
	達成率(%)			81	-	-	-	-	-	
	成果指標	市有林作業道開設延長		m	目標値	1,200	950	200	200	200
		算出根拠等		事業実施延長	実績値	870	-	-	-	-
		達成率(%)			73	-	-	-	-	-
		市有林施業管理面積		ha	目標値	2,353	2,353	2,353	2,353	2,353
		算出根拠等		人工林面積	実績値	1,392	-	-	-	-
達成率(%)			59	-	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、市有林周辺の森林所有者等と連携し、市有林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。 ・市有林の事業を通して、伐採等の施業技術者は育ちつつあるが、必要な施業のプランニング、進捗管理等のできる人材は不足している。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・市有林及び周辺森林を一体とし、プロポーザル方式による管理手法を継続して実施した。 ・市有林を事業体等への経営委託を継続して実施した。 ・森林の適正な管理に必要な人材を市有林の事業を通じて、引き続き育成する。	
課の考え 次年度の担当	○維持・改善	
	拡大	・市有林の適正な管理方法について、市有林の管理・利用業務を林業事業体等へ長期委託する。業務に必要な費用は事業体により確保(国補助金や支障木の売払い)することし、業務遂行により発生する関係者との連絡調整、進捗管理等を通して、適正な森林管理に必要な人材を育成する。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	39,096	24,429	27,150	34,651	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	427	269	302	385	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・市有林管理委託 ・市有林整備工事	要求のポイント	・市有林の適正な管理・利用を進める上で必要な経費を計上	事業実施の課題	・測量や設計、施業プランの作成等市有林の適正な管理・利用に必要な知識・技術を有する人材が不足している ・県補助事業費の確保
------	----------------------	---------	-----------------------------	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	27,150	34,651	7,501	38,480	38,480	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金	11,700	15,425	3,725	17,000	17,000		
	その他	8,500	13,489	4,989	17,400	17,400		
	一般財源	6,950	5,737	△ 1,213	4,080	4,080		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53210	緑の保全事業費		会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約 農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部林務課	内線 2235	予算	款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	緑の保全事業	
			項	3	林業費	施策の概要	1	森林の適切な管理	H29実施計画額	175,000 千円		
			目	2	林業振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	森林所有者・森林組合・林業事業者	どうしたいのか(意図)	必要な森林施策を適切に実施することにより、森林を健全な状態に保ち、水源かん養機能の向上や災害に強い森林づくりを促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・間伐などの国・県が所管する造林補助事業に、嵩上げ補助を実施する。 ・間伐材の搬出利用を促進するため、市場等までの運搬費に補助を実施する。 ・国、県制度において、補助対象とならない規模の小さい森林施策に対して、市単独事業により支援する。 ・平成26年12月の災害による倒木を処理するため、平成27年度から平成29年度まで市単独事業により支援する。
	対象者数	4,482 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業 183.2ha ・間伐促進事業 14.99ha ・除伐事業 0.72ha ・間伐作業道開設事業 13,803m ・軽作業道開設事業 1,501m ・間伐材利用促進事業 6,145m³ ・未利用資源活用促進事業(集運型) 5,095m³ ・未利用資源活用促進事業(買取り型) 437t ・小規模森林整備事業 1.3ha ・倒木処理支援事業(一体処理型) 21,732本 ・倒木処理支援事業(集運限定型) 573m³ 									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		間伐・除伐・枝打ち		ha	目標値	400	400	400	400	400
		実績値		198	-	-	-	-		
		算出根拠等		実績	達成率(%)	50	-	-	-	-
		作業道開設		m	目標値	22,500	22,500	22,500	22,500	22,500
		実績値		15,304	-	-	-	-		
	算出根拠等		実績	達成率(%)	68	-	-	-	-	
	間伐材利用促進事業、未利用資源活用促進事業(集運型)、未利用資源活用促進事業(買取り型) 集運材積量		m ³ (t)	目標値	15,500	16,600	16,600	16,600	16,600	
	実績値		11,677	-	-	-	-			
	算出根拠等		実績	達成率(%)	75	-	-	-	-	
	算出根拠等		実績	達成率(%)	68	-	-	-	-	
	成果指標	民有林内の間伐実施面積		ha	目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
実績値		1,093	-	-	-	-				
算出根拠等		飛騨農林事務所 間伐実績集計	達成率(%)	55	-	-	-	-		
算出根拠等		実績	達成率(%)	-	-	-	-	-		
算出根拠等		実績	達成率(%)	-	-	-	-	-		
算出根拠等		実績	達成率(%)	-	-	-	-	-		

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・作業道を開設し、搬出間伐を実施する業務は、高度な技術と多くの労務を要するため、今後は、森林技術者の育成・確保を図る必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	・間伐促進事業、小規模森林整備事業等の制度普及を図ることで、小規模事業者等の経営意欲の喚起を促す。 ・飛騨高山森の仕事を養成等を通して、森林技術者の育成・確保を図る。	
課の考え方の 次年度の担当	○維持・改善	緑の保全事業を継続することで、高山市森林整備計画に示す「みんなで考え、生かす森林づくり」を進め、経営意欲の喚起等の積極的な支援を進める。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	55,688	148,814	175,000	201,695	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	12,425	33,203	39,045	45	
	受益者	森林所有者・森林組合・林業事業者	(B)	4,482	4,482	4,482	4,482

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・間伐事業、除伐事業、間伐作業道開設事業、人工造林事業、下刈事業、雪起こし事業に対する助成 ・間伐材の集運に対する助成 ・県造林補助制度に対応できない個人及び林業事業者等が行う小規模な森林整備に対する助成 ・軽作業道開設に対する助成 ・平成26年12月の豪雪による倒木の処理に対する助成 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高山市森林整備計画に基づく、「災害に強い森林づくり、多様な森林づくり」、「効率的な木材生産、林産物の利用拡大」のための森林整備の促進 ・豪雪による倒木の速やかな処理の推進 	事業実施の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模森林所有者等が、国・県の造林補助事業を実施できるよう共同での森林経営計画策定の促進が必要である ・倒木処理が速やかに進むように働きかける必要がある
------	---	---------	---	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	175,000	201,695	26,695	195,000	195,000	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	700	1,125	425	1,000	1,000		
国庫支出金	750	1,500	750	1,500	1,500		
県支出金	37,237	1,726	△ 35,511	54,532	54,532		
その他	136,313	197,344	61,031	137,968	137,968		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53230	林業担い手育成事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
担当課	農政部林務課	内線 2234	款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	林業担い手育成事業	21,900 千円	
			項	3	林業費	施策の概要	3	担い手の育成・確保	H29実施計画額			
			目	2	林業振興費							
総合計画		H29年度		21,900 千円								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	林業新規就業者、林業グループ員、行事参加者	どうしたいのか(意図)	・林業従事者の減少や森林所有者の高齢化により、間伐等の森林整備が遅れている。そのため、将来林業に従事する人材を育成し、市内に移住することを目的に、「飛騨高山森の仕事を養成塾」を実施する。 ・林業グループの自主的な調査・研究活動を促進し、新たな林業技術の習得や後継者の育成を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・平成28年度から3ヶ年で10名の「飛騨高山森の仕事人養成塾」の塾生を募集し、森林技術者として育成し、市内林業事業体に就業できる知識、技術を習得するよう研修を実施する。 ・林業グループの自主的な調査・研究活動等に要する経費に対して助成する。
	対象者数	160 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績		各地域で活動する林業グループ7団体中6団体が、年間を通して6事業を行い、林業グループ員、一般参加合わせて132名の参加となった。また、第39回全国育樹祭の記念行事である「森林・林業・環境機械展示実演会」が、高山市一之宮町で実施され21,000人の来場があり、全国から多くの方が来場した。								
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		活動実施回数		回	目標値	10	10	10	10	10
		実績値			8	-	-	-	-	
		算出根拠等		実績	達成率(%)	80	-	-	-	-
		目標値								
		実績値								
	算出根拠等			達成率(%)						
	目標値									
	実績値									
	算出根拠等			達成率(%)						
	活動参加者		人	目標値	150	150	150	150	150	
	実績値			132	-	-	-	-		
算出根拠等		実績	達成率(%)	88	-	-	-	-		
森林技術者数		人	目標値	260	260	260	260	260		
実績値			212	-	-	-	-			
算出根拠等		第八次総合計画目標	達成率(%)	82	-	-	-	-		
目標値										
実績値										
算出根拠等			達成率(%)							

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	現在、市内各地で7団体が活動しているが、全地域10団体での活動が望ましい。団体活動が出来ない地域の人は、隣接の団体に属して活動するなどして、技術の向上を図る取り組みも必要である。又、活動自体は地域色を出しながらも、どのように後継者育成につなげていくかが課題である。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	「飛騨高山森の仕事人養成塾」の塾生を募集を広く募集し、森林技術者や新規移住者として定着できるよう受入側の環境を整える。毎年行われる各団体毎の技術講習やイベントなどに、地域外からの参加を呼びかけ、後継者の育成に繋げていく。	
次年度の考え方の担当	○維持・改善	
	拡大	「飛騨高山森の仕事人養成塾」の塾生は、森林技術者の担い手として3ヶ年募集を行い、さらに移住者として地域に定着するよう支援する。また、林業グループは、各団体の活動を通して一般市民が林業に興味を持つよう、常に新たな取り組みを念頭に活動するよう指導し、林業グループ合同のイベント・講習や、団体のない地域の人達を含めた情報交換の場を持つなど、後継者育成に繋げていくよう指導をしていく。
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除く)	H26決算額	H27決算額	H28予算額	H29予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	500	9,898	8,050	19,332	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	8,065	65,987	50,313	120,825	
	受益者	林業新規就業者、林業グループ員、行事参加者	(B)	62	150	160	160

5 予算編成(Action2)

事業内容	・新規林業就業者の育成、確保 ・広葉樹施業技術者の育成、確保 ・森林所有者の自主的な調査、研究活動の促進	要求のポイント	・飛騨高山森の仕事人養成塾の実施 ・スイスフォレストラー研修会の開催 ・林業グループへの活動への支援	事業実施の課題	・市外の林業就業希望者への効果的な広報 ・広葉樹施業を実践的に行うための環境整備 ・林業グループ活動内容の恒常化
------	--	---------	--	---------	--

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		8,050	19,332	11,282	1,250	1,250	・積算内容を精査 ・森の仕事人養成塾の終了による減 ・フォレストラー研修の実施方法の変更による減	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金	350	350	0				
	その他	300		△300	350	350		
	一般財源	7,400	18,982	11,582	900	900		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53240	林道整備事業費		会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約 農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。	
			予算	款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	林道整備事業		
担当課	農政部林務課		内線	項	3	林業費	施策の概要	2	森林資源の有効利用	H29実施計画額	38,000 千円		
			2235	目	2	林業振興費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市民	どうしたいのか(意図)	・旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払い。 ・林道(宮・高山線)の早期完成。 ・林道の改良の実施。	概要	事業の実施手法(手段)	・高山市の受益者負担金を支出する。 ・受益者組合への補助金を交付する。 ・宮・高山線の県代行業事に対する負担金の支払い。 ・林道公共事業(国・県補助)を活用し、林道の改良を実施する。
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	<ul style="list-style-type: none"> 宮・高山線事業負担金の支払い。1,620千円(県事業費の5%) 受益者組合への補助金交付。12,692千円 林道改良工事の実施。刈安線(一之宮)舗装L=349m 5,886千円 舟山～牛牧線(久々野)法面L=56.1m 4,320千円 下柏線(丹生川)法面L=49m 4,644千円 駄吉線(丹生川)法面L=16m 4,557千円 										
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31	
		林道宮・高山線開設事業		m	目標値	200	200	200	200	200	
		実績値		195	-	-	-	-			
		算出根拠等		実施延長	達成率(%)	98	-	-	-	-	
		林道改良事業		m	目標値	127	118	120	120	120	
		実績値		121	-	-	-	-			
	算出根拠等		実施延長	達成率(%)	95	-	-	-	-		
	成果指標		林道宮・高山線開設延長		m	目標値	11,150	11,150	11,150	11,150	11,150
	実績値		9,977	-	-	-	-				
	算出根拠等		開設済み延長/計画全延長	達成率(%)	89	-	-	-	-		
	林道舗装延長		m	目標値	0	0	0	0	0		
	実績値		0	-	-	-	-				
算出根拠等		舗装済延長/計画全延長	達成率(%)	-	-	-	-	-			
成果指標		林道橋点検業務			目標値						
実績値											
算出根拠等			達成率(%)								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> 林業者だけでなく広く一般の方にも大規模林道を活用していただけるよう維持管理の向上に努める必要がある。 県の予算に左右される部分が大い。 地域の森林所有者だけでなく、広く市民が活用しやすい安全面等の利便性の向上を図る。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、県の代行業事として実施する。(林道開設) 引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良) 引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。 	
次年度の考え方の担当	○維持・改善	
	拡大	引き続き、県の代行業事として実施する。(林道開設)
	縮小	引き続き、事業の進捗を図る。(林道改良)
	廃止検討	引き続き、旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金の支払いを実施する。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	45,406	39,718	44,951	69,386	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	496	437	499	771	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 旧緑資源幹線林道(大規模林道)の建設に係る受益者負担金 林道(宮・高山線)の負担金 林道改良工事の実施 林道橋点検業務の実施 	要求のポイント	<ul style="list-style-type: none"> 宮・高山線開設のための支障木伐採工事を実施 林道改良工事を実施 インフラ長寿命化を目的とした林道の橋梁点検を実施 	事業実施の課題	国・県の予算確保を要望し、必要な林道開設・改良を計画的に進める
------	---	---------	--	---------	---------------------------------

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	44,951	69,386	24,435	58,778	58,778	・積算内容を精査 ・橋りょう点検に必要な経費を計上	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	13,000	36,208	23,208	29,000	29,000		
一般財源	31,951	33,178	1,227	29,778	29,778		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53250	生活環境保全林管理事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画		市長公約
			款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	生活環境保全林管理事業	
担当課		農政部林務課	項	3	林業費	施策の概要	3	担い手の育成・確保	H29実施計画額	10,000 千円	
		内線	目	2	林業振興費						
		2236									

1 事業の目的・概要 (Plan)

目的	誰を(対象) 市民	どうしたいのか (意図)	・生活環境保全林を適切に維持管理する。 ・利用者数を増加させるとともに、市民による多様な活用を促進する。	概要	事業の実施手法(手段)	・施設の適正な維持管理を図る。 ・広報等により利用促進に向けた普及啓発を実施する。
	対象者数	90,024 人				

2 事業の推移・結果 (Do)

H27の実績	生活環境保全林管理事業 6,415千円									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		広報等による普及啓発		回	目標値	1	1	1	1	1
					実績値	1	-	-	-	-
		算出根拠等		実績	達成率(%)	100	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
	成果指標	利用者数		人	目標値	160,000	160,000	160,000	160,000	160,000
					実績値	135,191	-	-	-	-
		算出根拠等		実績	達成率(%)	84	-	-	-	-
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等			達成率(%)					

3 分析・評価 (Check)

分析・評価で明らかになった課題	・引き続き、適正な維持管理を実施する。 ・利用者増に向けた普及啓発を強化する。
-----------------	--

4 今後の方向性 (Action)

課題等に対するH28対応状況	・広報及びインターネットによるPRのほか、地域団体等と協力したイベントなどを開催し、利用者の増加を図る。 また、県補助等を積極的に活用し、施設整備をすすめるとともに施設の魅力を高める。	
次年度の考え方の担当	○ 維持・改善	・広報によるPRのほか、地域団体等と協力したイベントなどを開催し、利用者の増加を図る。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額	
	歳出(千円)	(A) 8,468	6,415	9,874	22,102	
	受益者1件当たり(円)	(A/B) 92	71	110	246	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B) 91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成 (Action2)

事業内容	・生活環境保全林施設の適正な管理及び利用促進	要求のポイント	・施設の適正な維持管理 ・利用促進に向けた普及啓発 ・観光景観林整備	事業実施の課題	・老朽化する施設の計画的な修繕を進める必要がある ・市民等に対し効率的な広報を実施する必要がある
------	------------------------	---------	--	---------	---

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	9,874	22,102	12,228	20,034	20,034	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
国庫支出金			0				
県支出金	5,000	15,000	10,000	15,000	15,000		
その他			0				
一般財源	4,874	7,102	2,228	5,034	5,034		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53260	森林整備地域活動支援事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約 3 産業の柱としての農業・林業・畜産業を確立します。 ◎林業からの新たな森林産業への転換を進めます。特用林産物の振興、森林技術者の確保・育成など、総合的な林業振興策に積極的に取り組みます。
			款	5	農林水産費	個別分野	6	林業	実施計画事業	森林整備地域活動支援事業	
担当課		農政部林務課	項	3	林業費	施策の概要	2	森林資源の有効活用	H29実施計画額	60,000 千円	
		内線 2234	目	2	林業振興費						

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	市と協定締結している森林所有者、全市民	どうしたいのか(意図)	計画的かつ一体的な森林の施策が行われるよう、その実施に不可欠な森林の現状調査、境界の明確化、作業路等の整備を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	市との協定に基づく森林整備のための地域活動(森林経営計画の作成や森林施策を前提とした森林調査、境界の確認作業、林内作業路網の改良等)に要した経費と、対象面積に交付単価を乗じた額(基準上限額)を比較していずれか低い額を交付する。 (森林整備地域活動支援交付金事業: 国、県、市の予算で費用負担)
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	交付金総額 19,770千円(国費 10,302千円 県費 5,006千円 市費 4,462千円) 積算基礎森林けん費 1,329.32ha		協定締結者数 2団体						
成果面	活動指標	指標名	単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		協定締結者数	団体	目標値	5	5	5	5	5
				実績値	2	-	-	-	-
		算出根拠等	市と協定を締結した個人または団体の数	達成率(%)	40	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値					
				実績値					
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-
				目標値	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000
				実績値	1,093	-	-	-	-
		算出根拠等	森林整備計画、年間間伐実施面積指標	達成率(%)	55	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	
			目標値						
			実績値						
		算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	当事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施について森林所有者や関係団体等に周知していく必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	当該交付金は減少傾向にある。 当事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施について森林所有者や関係団体等に周知する。	
次年度の考え方の担当	○ 維持・改善	当事業実施後の森林経営計画の作成や、間伐等の実施について推進する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	40,192	19,770	15,080	19,729	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	439	217	168	219	
	受益者	市民(4月1日現在)	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	・森林経営計画の策定を目的とした森林情報の収集、合意形成活動、森林調査及び森林境界の確認に対する助成 ・「森林経営計画作成促進」又は「施業集約化の促進」の協定を締結した森林内における作業路網の改良に対する助成	要求のポイント	市との協定に基づく地域活動の推進	事業実施の課題	・森林経営計画の中には、平成29年度に5年間の計画終期を迎える団地があり、各事業体においては新規計画の策定よりも、最低限必要な間伐施業の実施を最優先している ・H26豪雪により、林業事業者は倒木処理を優先しており、事業量減が予想される
------	---	---------	------------------	---------	--

事業費(人件費除く)	H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	15,080	19,729	4,649	20,090	20,090	要求どおり	財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	11,290	14,779	3,489	15,045	15,045		
その他			0				
一般財源	3,790	4,950	1,160	5,045	5,045		

平成29年度 事業別予算概要

事業名	53300	分収造林整備事業費	会計	1	一般会計	基本分野	1	産業・労働	根拠計画	高山市森林整備計画	市長公約	農林畜産業の振興 ○基幹産業の一つである農林畜産業の振興を目指し、農林畜産業の生産基盤整備に関わる活動を支援する施策を充実します。
			款	5	農林水産業費	個別分野	6	林業	実施計画事業	分収造林整備事業		
担当課		農政部林務課	項	3	林業費	施策の概要	1	森林の適切な管理	H29実施計画額	10,000 千円		
		内線 2235	目	3	分収造林費							

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	土地所有者、市民	どうしたいのか(意図)	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	公的造林資本による分収造林契約森林において、森林の現況調査により、間伐や枝打ち等の施策を実施する。
	対象者数	90,024 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H27の実績	間伐面積 19.47ha									
成果面	活動指標	指標名		単位	目標・実績	H27	H28	H29	H30	H31
		分収林間伐等施策実施面積		ha	目標値	30	39	30	30	30
					実績値	20	-	-	-	-
		算出根拠等	実施面積	達成率(%)	67	-	-	-	-	
					目標値					
					実績値					
	成果指標	算出根拠等		達成率(%)	-	-	-	-	-	
					目標値					
					実績値					
		算出根拠等	実施面積	達成率(%)	67	-	-	-	-	
					目標値	30	39	30	30	30
					実績値	20	-	-	-	-

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	旧森林開発公団以外の分収造林地については、新たな国の制度に対応し、森林の持つ公益的機能の維持・発揮を図るため、分収林及び周辺森林を一体とした管理手法を検討・実施する必要がある。旧森林開発公団分収造林地については、市管理業務の軽減を図るため、管理手法について検討する必要がある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH28対応状況	旧森林開発公団以外の分収造林について、新たな制度に対応するための管理手法を検討する。また、そのための調査を実施する。	
課の考え方の担当	○維持・改善	
	拡大	・国等の補助制度を有効活用し、必要な施策を継続的に実施する。
	縮小	・旧森林開発公団分収造林地の管理業務委託等について検討する。
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H26 決算額	H27 決算額	H28 予算額	H29 予算要求額		
	歳出(千円)	(A)	20,826	8,478	17,064	17,459	
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	227	93	190	193	
	受益者	土地所有者、市民	(B)	91,605	90,938	90,024	90,024

5 予算編成(Action2)

事業内容	公的造林資本の導入により、森林資源を計画的に造成し、地域林業の振興、国土の保全等を図る	要求のポイント	市が管理する分収林の森林整備の実施	事業実施の課題	計画的な施策の実施及び周辺森林と一体となった管理が必要である
------	---	---------	-------------------	---------	--------------------------------

事業費(人件費除く)		H28当初予算額	H29予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	17,064	17,459	395	17,112	17,112	積算内容を精査	財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	17,000	17,347	347	17,000	17,000		
	一般財源	64	112	48	112	112		